

ボランティア委員会

昭和区ボラ連の「交流の広場」に参加

33期 (生活A) 川原 山田 浩

昭和区ボランティア連絡協議会(会長 28期 滝川 黒尾純一)は、現在、昭和鯉城会をはじめとした18の団体で組織され、毎月、会長出席の役員会やボランティア委員長出席の交流部会等が催されている。

令和8年1月31日(土)の午後、ボラ連の行事の一つである「交流の広場」が昭和区社会福祉協議会で開催され、加入団体の代表者約40名が集まり、昭和鯉城会からも高島善行会長をはじめ4名が参加した。

桜花学園高等学校インターハクトクラブの中村美友さんによる司会進行のもと、黒尾純一会長の挨拶から始まり、女性3人グループの「あまりやんず」による軽妙なスピーチと、カラーの風船で雪だるまや花、虹などを作るバルーンアートが披露された。



黒尾会長あいさつ



あまりやんずバルーンショー



参加団体の自己紹介

昭和鯉城会からも、片岡ボランティア委員長により、長くなる指先ストレッチ、金属リングの通過すり抜け、観客を巻き込んだ5枚のカードの偶然一致などのマジックが10分にわたって演じられ、大いに昭和鯉城会をPRしていただいた。

団体紹介では加入団体の代表者により、それぞれの活動内容やグループの特色等がピーアールを交えて発表され、高島会長からも「遊びの広場」「区民まつり」における土鈴の絵付けや、日本銀行名古屋支店等の見学行事、清掃の活動等が報告された。



情報交換交流会

が、それでも、高齢者の方はもちろん保育園の園児さんに喜んでいただけると、いつも凄くやりがいを感じます。」等々と報告があり、楽しさとは、また一味違った余韻を感じました。

交流会では 4 グループに分かれて、自己紹介、令和 7 年度の活動を通して良かったこと、新年度やってみたいことなどの発表があり、桜花学園インター アクトクラブの彼女たちからも「土日、祝日にも慰問に出かけると、年間 240 日ぐらいの活動になるので勉強の方も大変です